Japanese Society for Day Care Treatment
日本デイケア学会
NEWS No.45

日本デイケア学会広報委員会
2022年7月20日　発行
日本デイケア学会事務局
東京都文京区本郷2-17-13
（有）エム・シー・ミューズ内
TEL：03－3813－6368
FAX：03－3813－6368
E-mail:info@daycare.gr.jp
http://www.daycare.gr.jp

第27回年次大会（静岡大会）へのお誘い

日本デイケア学会第２７回年次大会静岡大会　大会長　大嶋　正浩
（医療法人社団至空会　メンタルクリニック・ダダ　院長）

皆様、コロナ禍ですが、ご活躍のことと存じます。来る9月3日（土）、9月4日（日）に静岡県浜松市において（といってもオンラインですが）、開催いたします。

当初、話があったときはコロナ前だったので、いろいろテーマを考えていました。その後、コロナで延期になり、考えることをやめていました。昨年8月に、やはり開催することがわかり、急遽準備を始めました。オンラインかハイブリッド開催か悩みましたが、コロナ感染の先が読めなかったためオンラインとしました。皆様と顔を合わせてお会いできればいいのですが、その分何か楽しい印象に残る会にしようと思いました。

せっかくオンラインにしたので、その利点を生かそうと、全国のデイケアのメンバーさんに参加してもらえればと考えました。デイケアのメンバーさんの様々なパフォーマンスを共有する発表の場になると考えました。彼らのエネルギーがオンラインで全国に共有されたら素敵だと。また、そのパフォーマンスを作る過程もデイケアメニューとなり、メンバーさんの日々の活動に少しでも後押しになればと考えました。楽しい会になればと思います。

また、一般演題も予想以上に早く集まりうれしかったです。各地のデイケアの活動性の高さがうかがわれました。

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所の藤井千代部長による「地域づくり・多職種連携と精神科医療」という題名で地域共生社会実現に向けてのお話をしていただきます。シンポジウムではその他に、発達障害のプログラムに関してのセッションや、ピアスタッフの意見交換会、夫婦で障害を患っている漫画家さんのインタビュー、多機能型精神科診療所の施設のコメディカルスタッフによる意見交換等様々な側面からの発表や討論があります。事例検討会にも挑戦したいと思いました。コンパクトで現場に役立つような事例検討を考えていく必要があります。その機会となれば幸いです。ぜひ、ご参加ください。

また、悲願であるデイケアの地域ごとの協議会の設置に向けての現状把握とその延長線上の討論を行う予定です。デイケアは、古いサービス形態ではなく、これからの地域包括支援におけるかなめになるものだと思っています。シンポジウムでは「デイケアが抱える課題」「インターフェースとなるデイケア」というように、デイケアの過去、現在、未来と考える機会になればと考えております。

いろいろな思いを詰め込んだ静岡大会ですが、運営は県内のデイケアスタッフと当院のスタッフが協働して行っていきます。専門家はほとんど入っておりません。いろいろトラブルがあるかもしれませんが、頑張って当日を迎えたいと思います。ぜひお誘いあわせの上ご参加ください。

日本デイケア学会 第27回年次大会静岡大会のご案内

大会テーマ　**人と地域を癒して育てる時代へ**
～デイケアこそ医療と地域のインターフェイス・
コロナからのV字回復　笑顔と笑いでつながろう～

会　期　**2022年 9月 3日（土）・ 4 日（日）**

開催方法　**オンライン開催**

ホームページ　**https://daycare27.shizuoka.jp/**

大 会 長　**大嶋 正浩**（医療法人社団至空会メンタルクリニック・ダダ院長）

副大会長　**村上 直人**（静岡県立こころの医療センター院長）
竹村 淳和（浜松医科大学医学部附属病院精神神経科講師）
大場 義貴（聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科准教授）

参 加 費
・会員：6,000円　・非会員：7,000円　・当事者・家族・学生：2,000円
・1日目の合同レクリエーション大会（C回線）・合同芸術祭（D回線）
のみ「参加」「視聴」は何人参加・視聴しても1施設：10，000円

参加のお申込みは大会ホームページ「オンライン参加登録」からお手続きをお願いいたします。

＜合同レクリエーションについて＞

今回、全国のデイケアから「ピカソ展」「音楽祭」「ダンス大会」「プログラム発掘大会」に多くの作品が集まりました。
静岡大会のホームページ上（https://daycare27.shizuoka.jp/）で投票を行っております。作品をご覧になりたい方・投票したい方は是非、静岡大会へご参加ください。

投票期限は、8月5日（金）１０：００となります。

どのデイケアからも力作の作品が届いておりますので、
皆さんの投票をお待ちしております！

大会事務局：医療法人社団至空会　メンタルクリニック・ダダ
〒434−0043　静岡県浜松市浜北区中条1844
TEL:080−2647−7856（静岡大会専用）　Mail:dcgakkai2022@shikukai.jp

プログラム

大会長講演　「当法人のデイケアのありのままの姿
ーデイケアにおける成長　デイケアにおける発達障害（アンバランス）ー」
演者：**大嶋　正浩**（医療法人社団至空会メンタルクリニックダダ　院長）

特別講演　「地域づくり・多職種連携と精神科医療」
演者：**藤井　千代**（国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所
地域精神保健法制度研究部　部長）

シンポジウム①：「デイケアが抱える課題」
シンポジスト：**窪田　彰**（医療法人社団草思会錦糸町クボタクリニック　院長）
シンポジスト：**武田　佳子**（社会医療法人杏嶺会上林記念病院
社会復帰部門、精神科作業療法科　副科長）
シンポジスト：**横田　周三**（向陽台病院　理事長）
座長：**中庭　洋一**（医療法人なかにわメンタルクリニック　院長）

シンポジウム②：「インターフェイスとなるデイケアとは？」
シンポジスト：**青木　勉**（地方独立行政法人　総合病院国保旭中央病院
院長補佐兼神経精神科　主任部長）
シンポジスト：**鷲塚　輝久**（医療法人東口メンタルクリニック　院長）
シンポジスト：**堀川　直希**（医療法人コミュノテ風と虹　のぞえの丘病院　院長）
座長：**長谷川　直実**（医療法人社団ほっとステーション
大通公園メンタルクリニック　院長）

シンポジウム③：「デイケアにおける COVID 対策」
シンポジスト：**竹田　道子**（朝山病院　看護部長）
シンポジスト：**池ヶ谷　訓章**（昭和大学附属烏山病院　看護師長）
シンポジスト：**桑門　昌太郎**（医療法人社団聴雪会
かわさきデイケアクリニック　事務長）
指定発言：**村上　直人**（静岡県立こころの医療センター　院長）
座長：**糠信　憲明**（広島国際大学　准教授、
（一社）精神科領域の感染制御を考える会　代表理事）

実行委員発案企画①　**「ハプニング対応成功例」**
実行委員発案企画②　**「プログラム成長物語」**
実行委員発案企画③　**「地域につながる・進出するデイケア」**

参加型プログラム C-Ⅰ　**「デイケアプログラム発掘大会」**
参加型プログラム C-Ⅱ　**「都道府県ビンゴ大会」**
参加型プログラム C-Ⅲ　**「デイケア対抗ご当地クイズ大会」**
参加型プログラム C-Ⅳ　**「デイケアキネス大会」**
参加型プログラム D-Ⅰ　**「デイケア令和のピカソ展」**
参加型プログラム D-Ⅱ　**「デイケア音楽祭」**
参加型プログラム D-Ⅲ　**「デイケアダンス大会」**
オンライン街頭インタビュー

ワークショップ①　**「当事者インタビュー（動画）」**
　　「夫婦でビョーキですが、幸せになってもいいですか？」
ワークショップ②　**「ピアスタッフ意見交換会」**
ワークショップ③　**「発達障害のプログラム紹介」**
ワークショップ④　**「デイケア研究協議会」**
ワークショップ⑤　**「事例検討会」**
ワークショップ⑥　**「多機能型診療所コメディカル意見交換会」**

一般演題（口頭発表）（４１演題）

WEB セミナー（２プログラム）

詳しくは大会ホームページ（https://daycare27.shizuoka.jp/）をご覧ください。

デイケア　西から東から、北から南から…

「なりたい自分になる」への挑戦

綿貫　智史

介護老人保健施設あさいケアセンターは千葉県東金市にあります。東金市は千葉県のほぼ中央部に位置し人口は約６万人、平野部は良質な田園地帯が太平洋に向かって広がり、丘陵地は山武杉の森林に覆われた自然豊かな地域です。当施設の所属する浅井ヘルスケアグループの始まりは終戦後間もなく同市内に浅井医院が開設された時まで遡り、以降精神科および地域の高齢者医療・福祉のニーズに応える形で発展してきました。近年東金市も少子高齢化が進み、全世帯の約1/4が高齢者夫婦ないし単独の世帯となっており、昨今のコロナ禍による人の行き来の制限や外出控えにより、特に車など外出の手段が無い高齢の方が家に引きこもりがちとなり、地域でも問題となっていました。この状況を受けて当施設では、地域での介護予防の取り組みとして、一昨年の10月より「なりたい自分になる」をテーマに、以前より当施設で行っていた予防リハビリとはコンセプトの異なる「プレミアム予防リハ」をスタートさせました。これまでの予防リハビリは入浴・食事などを目的に利用される方が多く、終了期限は設けておらず、目標も現状維持の方がほとんどでした。一方、新しい予防リハは週一回半日という短時間ですが、滞在時間の殆どをマシントレーニングや生活動作練習等の運動に費やします。期間は一年間とし、目標設定も「なりたい自分になる」をテーマに、「畑仕事を再開したい」、「町内の麻雀会にまた行きたい」などご自身の運動意欲にも繋がるような具体的な目標を立てる事で、普段からの運動習慣や体調管理への意識を高めていきました。リハビリの際は血圧の測定やその記録、使用したマシン等の消毒などもリスク管理をしつつ出来るだけご自身で行って頂くよう促し、始めは「分からない、やって」と仰っていた方々も自ら進んでやって頂けるようになりました。また、個別の自主メニューの他、予防リハ開始時に万歩計もお渡しし、自主トレ実施状況や歩いた歩数なども記録して頂き、自分がどの位運動し、何歩歩いたかを見返せるようにした事で、「前回少なかったから、今週は多めに歩いたよ」など、ご自身でも活動量を意識される方が増えていきました。予防リハ卒業後に、目標通り畑仕事を再開された方や、自宅にマシンを購入し運動を続けている方など、当初に比べ生き生きと過ごされている方が多くいらっしゃいます。この良い変化を地域に少しでも広げて行けるよう、今後もこの取り組みを発展させ、継続させていきたいと思います。

（医療法人静和会介護老人保健施設あさいケアセンター通所リハビリ部・理学療法士）

デイケア　西から東から、北から南から…

根づくミーティング文化

佐藤　清美

本院のデイケアはミーティングが中心です。アディクション、うつ病、アダルトチルドレン、クレプトマニアなど様々な病態または疾患を対象にしています。アディクションリハビリテーションプログラム（以下ARP）は、依存対象の違いに囚われることなく、重複障害や依存対象の移行も視野に入れ、ミーティングを行っています。また、リワークプログラムとARPを併用するなど複数のミーティングに参加することもできます。入院患者と通院患者の合同ミーティングもあり、多様な背景を持つ対象者が一堂に会する場を提供しています。

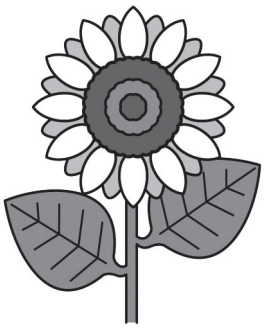
これらのミーティングの端緒は、1970年代半ばからスタートした夜間集会です。この「言いっぱなし聞きっぱなし」のミーティングは、多くのミーティングに派生していきました。上手に話さなくても良い、まとまっていなくても良い、一言でも良いといった雰囲気のミーティングでは、各々が思い思いに話し、話したくないときは「パス」をします。

夜間集会開始当初のメンバーの一人は、「吃音があって、はじめは上手く話せなかった。でも話し続けたら話せるようになった」と話します。また、何年も聞くだけだった人がある時を境に話すようになったこともありました。多様な病態と回復段階で話される話は、聞く人々に気づきと回復までのイメージを与えます。否認の心で話を聞いていた人も、いつかのタイミングで誰かの話が自分にはまる体験をする時が訪れます。徐々に「自分もそうかも」「ああ、分かるな」というように、聞く姿勢が変容していきます。

しかし、この変容の時期やきっかけは人それぞれ。ですからクール制やマニュアルに頼ったミーティングではなく、いつからどこからでも参加できるミーティングを継続してきました。そのため、他県や離島からでも、数か月または数年ぶりであっても参加しやすい場になっています。さらにいくつかの自助グループの会場にもなっており、コロナ禍で多くのミーティング会場が閉鎖される中、本院はミーティングを続け、自助グループの会場としてもミーティングの場所を提供しました。

このようにミーティング文化が根づいたのは、腰を据えて臨むが、熱心になりすぎない（巻き込まれない）といった心構え、そして木を育てるが如く、「生命」に関わる、「生活」を支える、「人生」を見守るといった理念の元、ぶれない実践を継続してきたからこそだと自負しています。

（医療法人志仁会西脇病院リハビリテーション課主任・作業療法士）



日本デイケア学会役員

理 事 長：原　敬造

副理事長：五十嵐良雄、古屋龍太

理　　事：相川章子、阿部幸弘、飯田仁志、池淵恵美、大嶋正浩、小田良光、門脇康弘、
川嵜弘詔、窪田　彰、齋藤敏靖、坂井一也、佐藤志津、鈴木実穂、関　健、
高尾由美子、富澤宏輔、西浦竹彦、長谷川直実、肥田裕久、福智寿彦、逸見嘉之介、
三家英明、横山浩之、四本かやの、若杉　肇、若松伸宏、渡邉文宏

監　　事：林みづ穂、荻野耕平

事務局長：飯田仁志

評 議 員：（地区別、五十音順）

北海道・東北地区●阿部幸弘（DR）、佐藤志津（PSW）、鈴木実穂（DR）、
長谷川直実（DR）、原　敬造（DR）

関東地区●相川章子（PSW）、五十嵐良雄（DR）、池淵恵美（DR）、
門脇康弘（OT）、窪田　彰（DR）、齋藤敏靖（PSW）、
肥田裕久（DR）、古屋龍太（PSW）、若杉　肇（CP）

中部地区●大嶋正浩（DR）、坂井一也（OT）、福智寿彦（DR）

北陸・信越地区●小田良光（PSW）、渡邉文宏（NS）

近畿地区●富澤宏輔（PSW）、西浦竹彦（DR）、三家英明（DR）、
四本かやの（OT）

中国・四国地区●

九州地区●飯田仁志（DR）、川嵜弘詔（DR）、逸見嘉之介（DR）、
横山浩之（運動指導士）

高齢者全国区●関　健（DR）、高尾由美子（PSW）、若松伸宏（OT）

委員会（会則第 13 条により、理事長が理事会に諮り設けられた委員会）

組織委員会：古屋龍太、佐藤志津、鈴木実穂、肥田裕久、小田良光、渡邉文宏、坂井一也、
西浦竹彦、横山浩之、高尾由美子

広報委員会：門脇康弘、林みづ穂、齋藤敏靖、百田　功

研修委員会：飯田仁志、阿部幸弘、若杉　肇、池淵恵美、逸見嘉之介、関　健、若松伸宏

編集委員会：川嵜弘詔、四本かやの、富澤宏輔、高尾由美子、西村良二、荻澤健志
査読委員：浅野弘毅、岩下　覚、工藤神威、是恒正達

調査研究委員会：五十嵐良雄、長谷川直実、窪田　彰、相川章子、福智寿彦、大嶋正浩、
西浦竹彦、三家英明、飯田仁志

社会保険委員会：窪田　彰、原　敬造、五十嵐良雄、古屋龍太、関　健、若杉　肇、飯田仁志

倫理委員会：四本かやの、小野寺敦志、井上牧子、高橋美久、下平　担

日本デイケア学会入会申込みについて

日本デイケア学会は、デイケアの発展と向上を意図し、学術研究の促進と会員相互の交流の推進を目的に、平成 8 年に研究会として設立され、その後平成10年に学会に名称変更され、現在約1,000名の会員がおり、精神科デイケア、高齢者デイケア・デイサービスの分野で業務に従事している方が大部分を占めております。

1．入会申込書　下記入会申込書にご記入の上、FAX か郵送で下記事務局までお送りください。

2．入会金および年会費

正 会 員：入会金 1,000円 ＋ 年会費 8,000円

団体会員：3 名までは、入会金 5,000円 ＋ 年会費 20,000円（登録者名の変更は適宜可能）

（3 名を越えるときは、 1 名につき年会費 5,000円を加算してください）

振 込 先：郵便振替　名称：日本デイケア学会　口座番号：00170-8-167337

3．資格（会則の一部を引用します）

正会員は、医療、保健、福祉、教育等の分野において、デイケアおよび関連業務に従事または従事しようとする個人で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとする。

団体会員は、デイケア業務をおこなう団体、施設、法人等で、本会の目的に賛同し会費を納めるものとし、一定数のデイケア従事者を登録することができる。

4．事務局　〒113－0033　東京都文京区本郷 2－17－13 広和レジデンス 2F　(有)エム・シー・ミューズ内

日本デイケア学会事務局

TEL＆FAX：03-3813-6368

E-mail：info@daycare.gr.jp　　URL：http://www.daycare.gr.jp

キリトリ線（ご記入いただき、郵送あるいは FAX で事務局までお送り下さい。）

入会申込書

申込日　令和　　年　　月　　日

（正会員用）

氏名		性別	男・女	生年月日	T・S・H　　年　　月　　日

職種		所属先名称（勤務先）	

所属先所在地	〒	電話番号	（　　）

（団体会員用）

団体名		代表者	
所在地	〒		
種別		TEL	（　　） FAX （　　）

会員登録（計　　名）　※会員登録される方を下記に記して下さい。

氏名	フリガナ	氏名	フリガナ
氏名	フリガナ	氏名	フリガナ